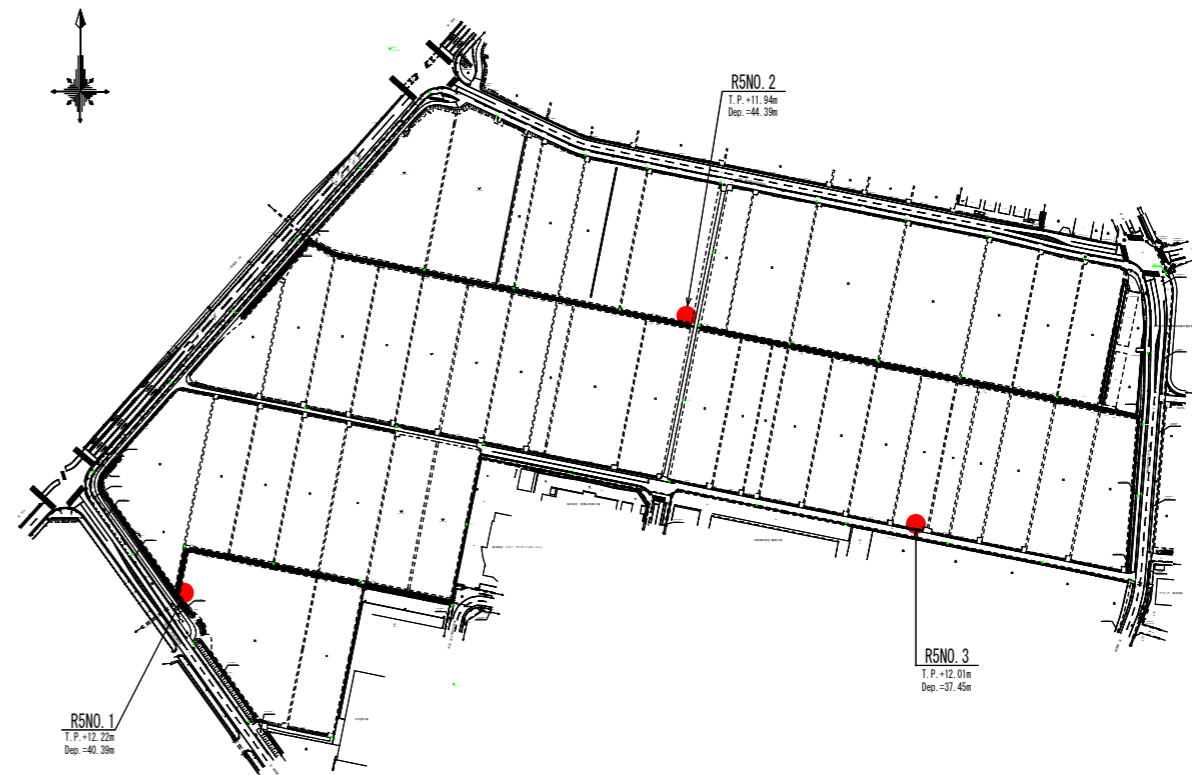


### 地層構成表

地質時代	地層名	土質区分	記号	層厚 (m)	設計 N 値 (回)	記 事
第四紀	沖積層 (更新世)	表土層	FS	0.65~0.80	2	耕作土及び砂質シルトから構成される。植物根混入する。
		砂質土層	As1-1	1.30	1	含水中で粒度不均一。所々シルト分を挟む。所々腐植物を混入する。RQNO. 3孔のみ確認。
		第1粘性土層	Ac1	0.70~3.20	1~2	含水中で粘性強い。所々腐植物挟む。所々シルト細砂を混入する。粒度不均一。
		第1砂質土層	As1	0.55~1.30	1~6	含水やや高く粒度不均一。細砂主体で所々シルト分の薄層を挟む。
		第2粘性土層	Ac2	1.10~4.35	1~4	含水中で粘性強い。所々細砂挟む。所々腐植物混入する。
		砂質土層	As2-1	1.15	4	含水中で粒度不均一。所々シルト分を挟む。RQNO. 3孔のみ確認。
				1.10~4.35	1~4	含水中で粘性強い。全体的に細砂を挟む。
		第2砂質土層	As2	0.90~2.30	13~14	含水中で粒度不均一。所々細砂挟む。孔壁崩れやすい。
		第3粘性土層	Ac3	1.10~2.50	3~5	含水中で粘性強い。所々シルト質細砂~細砂を挟む。
		第3砂質土層	As3	0.50~0.80	6~11	含水やや少なく粒度不均一。所々シルト~細砂挟む。
		第4粘性土層	Ac4	1.60~3.85	3~7	含水中で粘性強い。所々砂質シルト~細砂挟む。所々腐植物混入する。
		第4砂質土層	As4	1.35~2.15	9~17	含水中で粒度不均一。所々シルト~細砂を挟む。孔壁崩れやすい。
		第5粘性土層	Ac5	0.70~1.45	4~9	含水中で粘性強い。所々細砂を挟む。所々腐植物混入する。
		第5砂質土層	As5	1.25~3.45	10~18	含水中で粒度不均一。孔壁崩れやすい。所々細砂を混入し、全体的にシルト分を挟む。
	第6粘性土層	Ac6	0.95~2.75	5~9	含水やや少なく粘性中位。所々シルト質細砂を挟む。	
	第6砂質土層	As6	2.20~5.15	13~17	含水中で粒度不均一。孔壁崩れやすい。所々シルト分を挟む。	
	第7粘性土層	Ac7	1.20~3.75	9~10	含水やや少なく粘性強い。所々腐植物を挟む。所々シルト質細砂~細砂を挟む。	
	第7砂質土層	As7	5.50~6.00	25~28	含水中で粒度不均一。孔壁崩れやすく所々細砂~粗砂挟む。所々φ=2~30mmの垂円礫を挟む。	
	洪積層	第1粘性土層	Dc1	1.40~3.25	9~23	含水少なく粘性強い。所々砂質シルトを混入する。
		第1砂質土層	Ds1	0.50~0.67	13~50	含水中で粒度不均一。所々シルト~細砂を混入する。
第1礫質土層		Dg1	3.80~6.00	44~50	含水やや高く粒度不均一。孔壁崩れやすいφ=2~40mmの垂円礫を主体。所々細砂~粗砂を混入する。RQNO. 1 GL-36.5m付近より漏水する。部分的にシルト分~粗砂を挟む。	
第2砂質土層		Ds2	4.20	13	含水中で粒度不均一。所々シルト分挟む。所々φ=2~30mmの垂円礫挟む。RQNO. 2孔のみ確認。	
		第2礫質土層	Dg2	1.69	50	含水やや高く粒度不均一。孔壁崩れやすい。φ=2~40mmの垂円礫を主体。GL-43.0mで漏水する。RQNO. 2孔のみ確認。

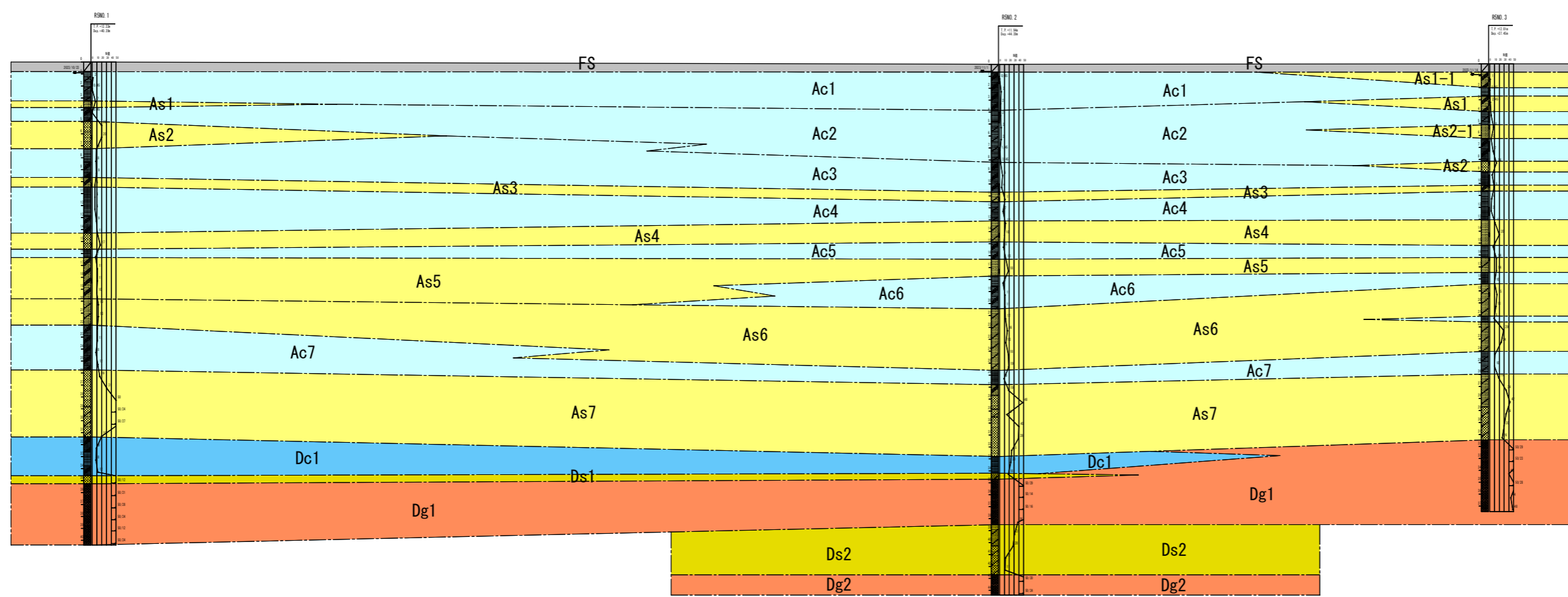
### 調査位置図



(縮小版)

### 地層推定断面図

(H=1:3000 V=1:200)



令和 6 年度	図番	業
路線名	新たな産業団地の整備に伴う地質調査(解析)業務委託	
調査名	新たな産業団地の整備に伴う地質調査(解析)業務委託	
位置	鶴岡市覚岸寺・荒井京田・本田 地内	
地層推定断面図 1 葉 1		
縮尺	図示	